

木造家屋建築工事における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	0~1	普段ハンマー等を使用した仕事に従事している。半年ほど前から右手の状態が良くなかったが、痛みが酷くなってきたため医療機関に受診した。医師より長年右手を仕事で使って来た事による負傷であるとのこと。	43	1~9
2	13~14	新築工事現場にて基礎ブロックの据え付けをする為トラックからブロックを持ち上げて運び（1個20kg）設置場所に降ろした時に痛みがはしり負傷した。（この作業を5回程行った時）（設置場所までトラックが入らない為人力にて運搬）	59	—
3	9~10	事務所内にて、お客様出迎えのため、事務所入口へ早足で歩いていたら、右下腿に痛みがはしり歩けなくなり、右下腿筋断裂を負った。	52	100~299
4	9~10	前日使用した鉄骨コイル巻き約20kgを軽トラックの荷台からおろし、会社倉庫内に納めようとしたとき、腰に激痛が走りしばらく身動き出来なくなった。	47	1~9
6	9~10	個人宅リフォーム工事にて、一斗缶を持ち上げた際に、右脇腹を負傷した。	30	1~9
9	10~11	作業場で、重い柱材を2人で移動している時に、不注意で足をすべらせ、腰に思わぬ負担がかかったため、負傷したものと見られる。	33	1~9
10	15~16	土止め工事で積石（90cm×15cm×15cm）を2人で運搬中に通路デコボコ部に足をとられ、後ろに転び腰を打った。痛みを我慢していたが後日痛みが強くなった。	59	1~9
10	8~9	会社の駐車場でトラック（4t）に荷物（グレイティング：側溝にはめる鉄製の器具、重さ3~4kg、台車リフトなし）をしゃがんで両手で持ち、高さのある荷台へ積みこもうとして腰を上げ、捻ったら、大きな痛みを感じ動けなくなった。	24	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html